



トラブルシューティング

- HX 接続の復元ステータスの表示 (1 ページ)
- ネットワーク設定のトラブルシューティング (4 ページ)
- データストアの容量を増やすと空き容量として表示されないことがある (4 ページ)
- サイト間フェールオーバーのトラブルシューティング (5 ページ)

HX 接続の復元ステータスの表示

HX 接続の [ダッシュボード] ページでは、HX ストレージクラスタのステータス概要が表示されます。[情報 (Information)] (i) をクリックして復元カステータスにアクセスします。復元ステータスは、データ復元のヘルス ステータスであり、ストレージクラスタの耐障害性を示すものです。

HX 接続の修復ステータスにアクセスするには?

1. HX Connect にログインします。
 1. ブラウザに HX ストレージクラスタ管理 IP アドレスを入力します。
Https://<storage-cluster-management-ip> に移動します。
 2. 管理ユーザ名とパスワードを入力します。[ログイン (Login)] をクリックします。
2. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[ダッシュボード] をクリックします。
3. [ダッシュボード] ページで、HyperFlex ストレッチクラスタの復元ステータスを表示することができます。

カラーコーディングとアイコンを使用して、さまざまなステータスの状態が示されます。アイコンをクリックすると、現在の状態となっている原因を説明する理由メッセージなどの追加情報が表示されます。さまざまな復元状態は次のとおりです。

- **[Healthy]** : データと可用性の点でクラスタは正常です。
- **[Warning]** : データまたはクラスタの可用性に対する悪影響が生じています。
- **[Unknown]** —クラスタがオンラインになるときの移行状態です。



重要 下に記載されているディスク障害は、コンバージド ノード（補助ノードとコンバージド ノードはユーザ データをホストしているディスクがありません）。専用です。

独立した同時に発生しない障害シナリオ

障害シナリオ	予想される動作	HX 接続の復元ステータス
ノード障害	これらのノードが VM リソースに対応できる限り、VM は同じサイトの残りのノードにフェールオーバーします。	警告—クラスタが回復するまで、クラスタは問題があるステータスを示しています。
任意の 1 つのサイトのすべてのノード障害	その他のサイトへのユーザの VM フェールオーバー。 (注) サイトの障害後にリカバリ操作を成功させるために、補助ノードはオンラインである必要があります。	警告—HX 接続はサイトの障害の詳細を示しています。 クラスタが回復するまでに、クラスタは異常な状態のステータスを表示します。
1 つのディスク障害	クラスタはフェールオーバー後に回復します。	警告—クラスタが回復するまで、クラスタは問題があるステータスを示しています。
1 つのサイト（ノードごとに 1 つのディスク）に同時に発生した 2 つのディスク障害	1 つのディスク障害と同じです。	警告—クラスタが回復するまで、クラスタは問題があるステータスを示しています。 1 つのディスク障害と同じです。
補助の障害	クラスタはオンラインのままです。	明確な表示はありません。
vCenter 障害（プラットフォームの影響）	クラスタはオンラインのままです。	明確な表示はありません。
特定のサイトと補助間のネットワーク分離	クラスタはオンラインのままです。	明確な表示はありません。

障害シナリオ	予想される動作	HX 接続の復元ステータス
サイト間のネットワーク分離	<p>1つのサイトからすべてのユーザ VM は、他のサイトにフェールオーバーします。その他のサイトから VM は引き続き実行します。</p> <p>(注) サイトの障害後にリカバリ操作を成功させるために、補助ノードはオンラインである必要があります。</p>	<p>警告—HX 接続はサイトの障害の詳細を示しています。</p> <p>クラスタが回復するまでに、クラスタは異常な状態のステータスを表示します。</p>

補助障害の障害シナリオ

障害シナリオ	予想される動作	HX 接続の明確な表示
ディスク障害	クラスタはオンラインのままです。	警告—クラスタが回復するまで、クラスタは問題があるステータスを示しています。
単一ノード障害	<p>クラスタはオンラインのままです。</p> <p>クラスタは正常ではありません。</p>	警告—クラスタが回復するまで、クラスタは問題があるステータスを示しています。
リンク障害	2つ目の障害は復旧されるか補助を復元するまで、クラスタは両方のサイトで全パスマダウンの結果を停止します。	警告—クラスタが回復するまで、クラスタは問題があるステータスを示しています。
いずれかのファブリック インターコネクト ペアの障害	2つ目の障害は復旧されるか補助を復元するまで、クラスタは両方のサイトで全パスマダウンの結果を停止します。	警告—クラスタが回復するまで、クラスタは問題があるステータスを示しています。
スイッチの障害	2つ目の障害は復旧されるか補助を復元するまで、クラスタは両方のサイトで全パスマダウンの結果を停止します。	警告—クラスタが回復するまで、クラスタは問題があるステータスを示しています。

障害シナリオ	予想される動作	HX 接続の明確な表示
サイトの電源障害	2つ目の障害は復旧されるか補助を復元するまで、クラスタは両方のサイトで全パスダウンの結果を停止します。	警告—クラスタが回復するまで、クラスタは問題があるステータスを示しています。

ネットワーク設定のトラブルシューティング

ネットワーク設定の前提条件を満たしているかどうかを確認するには、次の操作を行います。

- ストレッチ VLAN が作成されたら、物理的に異なるサイト上に存在するノードが ping に応答することを確認します。
- すべてのサイト間で往復時間 (RTT) および帯域幅の要件を満たしていることを確認します。IPerf および Ping や、サポートされている Cisco ツールを使用して、RTT および帯域幅を測定します。

データストアの容量を増やすと空き容量として表示されないことがある

問題:

データストアの容量を増やすと、HX Connect UI および stcli で空き容量として表示されない場合があります。

推奨される解決策:

各 VM で使用されている実際のスペースに応じてデータストアのサイズを変更します。



(注) 最大クラスタ容量を使用してデータストアのサイズを変更します。実際に使用されているデータストアの間隔が反映されます。これは、要件に基づいてデータストアのサイズを変更するためのヒントとして使用できます。

1. HX Connect から **[Datastores]** を選択します。
2. **[datastore]** を選択します。 **[Edit]** をクリックします。
3. **[Edit Datastore]** ダイアログボックスでデータストアのサイズを変更するには、必要に応じて **[サイズ]** を変更します。
4. データストアを編集します。

サイト間フェールオーバーのトラブルシューティング

サイト間のフェールオーバー時に、次の手順を実行します (必要な場合)。

- サイト間の障害時には、フェールオーバーにかかる時間に応じて、VMにはESXレイヤからの一時的なすべてのパスダウン(APD)イベントが表示されることがあります。このAPDは、監視接続が低速である場合に予想されます。
- 場合によっては、サイト間のフェールオーバー中にタイムアウトしたユーザーのVMを、手動で再起動する必要がある場合があります。

ノードをリブートしてAPDを解決しないようにしてください。クラスタのサイズとデータ量によっては、監視トランザクションの遅延が高くなると、フェールオーバーに20～30分以上かかる場合があります。

